



# 出雲と備後を結ぶ 交通の要衝

ぎんざんかいどう むろじゆく ふのじゆく

## 銀山街道 室宿～布野宿

平成 29 年度認定 / 広島県三次市布野町 / 布野町まちづくり連合会

### 万葉の昔からつながる道と行き交う人々。

みよしし ふのちよ  
三次市布野町は、広島県北部に位置し、国道54号と布野川に沿って南北に細長く、面積のうち約9割が山林で占められた町で、古くは、石見銀山から尾道まで銀を運んだ銀山街道の宿場として、さらに、銀だけでなく多くの物資や出雲大社参りの人々が行き交う陰陽を結ぶ交通の要衝としてにぎわったところでもあります。

おおもり このかいち  
早朝、大森を出た銀輸送の一行は、九日市(島根県邑智郡美郷町)で一泊し赤名宿で荷継ぎをした後、赤名峠へ向かいます。赤名峠いにしえは古より、日本海側からの海産物の運搬等、人々の往来があり、万葉の昔かきのもとひとまるには、柿本人麻呂もこの峠を使ったと伝えられています。天保3年(1832年)、赤名峠で行人てんぽうが殺害されるという事件が起こりまし

おおだ  
た。出雲側の太田より肴やローソク、木綿まんうえもんを持って峠を越えた行商人の万右衛門が同じ行商人に狙われ殺されたという話ですが、平穩だった当時としては大事件でした。その現場は「マンネー坂」という地名として現存しています。赤名峠ぶんか一帯は、標高680m、冬季は雪深く銀山街道屈指の難所で、銀輸送の峠越えは大変な労力を要しました。文化8年(1811年)には、銀の荷継ぎの負担軽減を求める訴状が大森代官所に出されており、峠を越えて銀を運ぶ人々の苦勞が切々と語られています。同じ年の冬、幕府の天文方、伊能忠敬が測量の為、赤名峠を越え「室宿」に入っています。室宿は山越えの旅人達で賑わう宿場町でしたが、豪雪の中での測量には連日、村から多くの人くにかひが動員され、雪踏みや諸道具を担いだりしたと伝えられています。室宿には伊能忠敬が宿泊した旅館「升屋」が往時の落ち着いた佇まいを見せます。

銀輸送の一行は、室宿から山越えの道「仏ヶ峠」を布野宿へと目指していきます。難所であった赤名峠は明治18年(1885年)よりの改修が始まり、人か馬の背に頼る以外方法が無かった重い荷物も荷車で運べるようになりました。この頃盛んであった、たたら製鉄に必要な木炭の輸送にも荷車が使用されるようになり、布野宿は大変に

## 山越えの 深き路。




明治時代に改修された赤名峠

ぎわいをみせました。昭和31年(1956年)には、作家山代巴やましろともえが「荷車の歌」を出版、荷車引きの農婦の苦渋に満ちた生涯を描いています。また、斎藤茂吉らと共に活躍し明治・大正・昭和を通じてアララギ派の屈指の歌人とよばれる地位を築いた、中村憲吉なかむらけんきちの生家が「中村憲吉記念文芸館」として残され当時を偲ぶことができます。「國境にいざよふ雲や國原の雪もしぐれもこの御山より」  
「卯のはなの季節にいれば手助けて田を植ゑいそぐ峽びとのとも」と故郷の壮大な自然や人々の営みを詠んでいます。

布野宿の銀山街道は山の中腹のなだらかな道が続き美しい自然が心を和せ、今も当時の人の往来を垣間見る事ができます。銀輸送の一行も、この道は一瞬の安らぎを覚えたに違いありません。布野宿を出た一行は、夕闇迫る知波夜比売神社を祈る思いで通り、この日最後の難所「宮の峽」へと進みます。2泊目の三次宿まであと少しの道のりです。

歴史ある街道の姿と雄大な自然を楽しんでいただけます。



「横谷自治連合会会長の」辻田定夫さん

布野町には、明治時代以降の道路改良の影響を受けずに残された銀山街道が幾つも残っています。横谷地区の山峽や尾根を通る道、上布野から下布野にかけての往還や山腹の道は、当時の面影をしっかりと感じられます。毎年、案内看板も整備してきており、当時の街道の姿と雄大な自然を楽しんでいただけたと思います。また道の駅「ゆめランド布野」と連携した健康ウォークなども開催し、運動と歴史散策、そして食(惣菜バイキング)も楽しめる企画として喜ばれています。

グリーンロード大和  
まで約25km

銀山街道赤名宿 P45



いにしえの里 三次物怪・でこ街道 P117

- ① 国境の碑
- ② 万右衛門殺害場所、万右衛門の墓 (マンネー坂)
- ③ 升屋 (伊能忠敬が宿泊した宿)
- ④ 光西寺の牛馬観音
- ⑤ 小説家山代巴「荷車の歌」のモデル (日野イシさんの家)
- ⑥ 官宮広島鉄山跡
- ⑦ 仏ヶ崎
- ⑧ 中村憲吉の墓
- ⑨ 布野宿本陣のあった所
- ⑩ 中村憲吉記念文芸館
- ⑪ 山崎古戦場
- ⑫ 知波夜比売神社
- ⑬ 神之瀬の渡し

中村憲吉の歌碑

中村憲吉は三次市布野に生を受け、46年の生涯で3000首以上の短歌を残しました。その歌碑は布野の街などにたくさん建立されています。



交通 ●  
中村憲吉記念文芸館まで  
三次ICから車で約20分  
三次ICから約16km  
口和ICから車で約25分  
口和ICから約18km

お問い合わせ ●  
三次市 布野支所  
☎0824-54-2111

ぶらり歩いてみよう

国境の碑



島根、広島県境の銀山街道・赤名峠に置かれている国境の碑には「従是(これより)南 藝州領」と刻まれています。

万右衛門殺害場所 (マンネー坂)



天保三年(1832年)峠を越えた行商人の万右衛門が同じ行商人に狙われ殺された場所は、万右衛門坂 (マンネー坂) といわれています。

升屋 (伊能忠敬が宿泊した宿)



赤名宿と布野宿の中間で赤名峠への登り口に位置する広島県最北の宿は当時のままの面影を残しています。

仏ヶ崎



赤名峠と同じ難所であった仏ヶ崎。(仏ヶ崎から赤名方面をみた風景。)

中村憲吉記念文芸館



46年の生涯で3000首以上の短歌を残した中村憲吉の生家。



中村憲吉  
広島県三次郡上布野村生まれの歌人。  
1889年～1934年

知波夜比売神社



15世紀には既に存在していたといわれている歴史の古い神社です。

現存する銀山街道



イベント・活動

銀の道ウォーク&レストランで案内ガイド (H28)



銀山街道看板設置



道の整備



史蹟の整備



はじめて布野に来られる方々にもより分かりやすく散策をしていただくため、地元のみんさんが協力して、貴重な歴史財産を守っています。

ゆめランド布野

布野産の新鮮な食材を提供しています。  
広島県三次市布野町下布野661-1  
TEL 0824-54-2929

オススメ周辺情報

- ↑ フルーツランド ぶの
- ↑ オーストリッチ牧場
- ↑ フィッシングガーデン吸谷